

# 新入学生徒教育課程

令和3年度  
山口県立岩国総合高等学校

教育課程編成上の基本的事項	本校又は分校の別	全日制、定時制又は通信制の別	学科	生徒数	
				男	女
1年は高等学校必修科目の履修に重点を置く。2・3年は本校総合学科における系列(3系列11専攻)に関連する幅広い選択が可能となるよう、普通教育に関する科目と専門教育に関する教科の専門科目及び学校設定科目を開設して、多様な興味・関心や進路等に応じた学習の深化を図る。	本校	全日制	総合学科	18	72

各学科に共通する各教科・科目	年次	学級数			計
		1	2	3	
国語	総合	④			4
	表現		②	②	4
	現代文A		2	2	2
	現代文B		*2	*2	4
	古典A		2	2	2
	古典B(a)		*2		2
	古典B(b)			*2	2
	※現代文研究			2	2
	※国語基礎		2	2	2
地理歴史	世界史A	②			2
	世界史B		4	4	4
	日本史A		2	2	2
	日本史B		4	4	4
	地理A		2	2	2
	地理B		4	4	4
公民	現代社会			②	2
	倫理		2	2	2
	政治・経済		2	2	2
数学	数学Ⅰ(α)	5			5
	数学Ⅰ(β)	3			3
	数学Ⅱ		4		4
	数学Ⅲ			4	4
	数学A	2	2		2
	数学B		2	2	2
	数学活用		2		2
	※数学探究α			2	2
	※数学探究β			2	2
理科	物理基礎		②		2
	物理			4	4
	化学基礎	②			2
	化学		4	4	4
	生物基礎		②		2
生物			4	4	
保健体育	体育	②	②	③	7
	保健	①	①		2
	※レクリエーションスポーツ		2	2	2
芸術	音楽Ⅰ	2			2
	音楽Ⅱ		2	2	2
	美術Ⅰ	2			2
	美術Ⅱ		2	2	2
	書道Ⅰ	2			2
	書道Ⅱ		2	2	2
	書道Ⅲ			2	2
	刻字			2	2
	※ペン習字		2	2	2
	※陶芸(a)		2		2
※陶芸(b)			2	2	
外国語	コミュニケーション英語Ⅰ	③			3
	コミュニケーション英語Ⅱ(α)		4	2	6
	コミュニケーション英語Ⅱ(β)		4	2	6
	コミュニケーション英語Ⅲ			4	4
	英語表現Ⅰ	②			2
	英語表現Ⅱ		*2	*2	4
	※ハンブル(a)		4	4	4
	※ハンブル(b)			2	2
	※中国語(a)		4	4	4
※中国語(b)			2	2	
家庭情報	家庭基礎	②			2
	社会と情報	②			2

主として専門学科において開設される各教科・科目	年次	学級数			計
		1	2	3	
商業	ビジネス基礎		2	2	2
	簿記		4	4	4
	原価計算			4	4
	財務会計Ⅰ			4	4
	情報処理		4	4	4
	ビジネス情報			4	4
	家庭	子どもの発達と保育			2
リビングデザイン			2	2	2
ファッション造形基礎			2		2
ファッション造形				4	4
フードデザイン(a)			2	2	2
フードデザイン(b)			2	2	
看護	基礎看護		4	4	4
	人体と看護		2	2	2
	疾病と看護		2	2	2
福祉	社会福祉基礎		*2	*2	4
	介護福祉基礎		*2	*2	4
	生活支援技術		*2	*2	4
	こころとからだの理解		*2	*2	4
音楽	ソルフェージュ(a)		2		2
	ソルフェージュ(b)			2	2
	器楽(a)		2	2	2
	器楽(b)			2	2
美術	素描(a)		2	2	2
	素描(b)			2	2
	絵画(a)		2	2	2
	絵画(b)			2	2
	ビジュアルデザイン(a)		2	2	2
ビジュアルデザイン(b)			2	2	
※総合	※産業社会と人間		②		2
	※課題研究			①	1
総合的な探究の時間			②	①	3
自立活動		1	1	1	3
単位数合計		29(30)	29(30)	29(30)	
特別活動	ホームルームの週時数	1	1	1	
	指導計画の概要	ホームルーム活動 好ましい人間関係の形成を通して、健全な生活態度の育成を図る。 生徒会活動 一貫した指導体制のもとに、自発的、自主的活動を通じて、学校生活の充実を図る。 学校行事 学校生活に秩序と変化を与え、集団への所属感を深め、学校生活の充実と発展を図る。			

- 注1:教科名・科目名の「※」は、学校設定教科または学校設定科目を示す。  
 注2:科目の単位数で、「○」が付されているものは、その年次の生徒全員が履修する科目の単位数、「○」のないものは選択科目の単位数。  
 注3:1年次・2年次は太線でまとめられた科目群から、それぞれ1科目選択する。  
 ※数学については、1年次で数学Ⅰ(α)5単位と、数学Ⅰ(β)・数学Aセット5単位のいずれかを選択。数学Ⅰ(α)5単位を選択したものは、2年次で数学活用・数学Aセット4単位を履修する。  
 注4:「国語表現」「数学Ⅰ(3単位)」「数学A」「コミュニケーション英語Ⅰ」「英語表現Ⅰ」は少人数指導として実施。  
 注5:2年次で10単位、3年次で18単位、各年次で選択可能な科目から選択する。  
 注6:「\*」は2・3年次で継続履修の選択科目の単位数を示す。  
 注7:「α・β」は進路希望別の2種類の講座の開設を示す。  
 注8:「a」は生徒の1年目の学習講座、「b」は2年目の学習講座を示す。  
 注9:受講希望者が僅少の場合開講しない(科目別単位数の欄が0になっている科目)。  
 注10:1コマ分の年間総授業時数(50分×35単位時間=1750分)  
 注11:2・3年次の同修科目で、破線両側のそれぞれの欄に同じ数字があるものは、2年次又は3年次で1回選択して履修できる科目を示す(2・3年次で2回選択はできない)。  
 注12:「総合的な探究の時間」の名称は「Wise Person21」としている。  
 注13:地理歴史科は、2・3年次において、「日本史A」「日本史B」「地理A」「地理B」のうち、1科目を必ず履修する。  
 注14:それぞれの科目の「Ⅰ」を履修した後に「Ⅱ」を選択する。  
 注15:「自立活動」は学校教育法施行規則第140条に基づき設定する障害に応じた特別の指導であり、1～3年次において、最大3単位の履修が可能である。  
 単位の認定については増加単位による認定である。

\*2学期制を実施し、単位制による課程を採用している。

\*週5日の授業のうち、7コマ以上を設定している授業日数:( 0 )日